



新型コロナワクチンについて皆さまに知ってほしいこと



国がオミクロン株対応ワクチンの導入を決定したことに伴い、3回目以降の接種で使用するワクチンは、9月末からオミクロン株対応ワクチンに切り替わります。対象者は2回目接種済みの12歳以上の方で、これまで接種券の発行がされていなかった方も、10月中旬の接種に間に合うように接種券の配布がされます。

また、5歳以上11歳以下の方の接種が努力義務となり、3回目の追加接種も始まっています。(生後6カ月から4歳の乳幼児については、ファイザー社が薬事申請中です。)

重症化防止や感染拡大の抑制のためにも、ワクチンに関する効果やリスクについて十分納得されたうえで、ワクチン接種を積極的にご検討ください。

なお、周りの方に接種を強制したり、接種をしていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

**新型コロナワクチン接種に関する
ご質問、予約方法、接種券の再発行
依頼等は、お住いの市町村の窓口
にお問い合わせください。**



使用するワクチンについて(接種回数別)

	1回目または2回目接種	3回目接種(※1)	4回目接種(※2)	5回目接種(※3)
60歳以上 または18～59歳で、 ・基礎疾患を有する方 ・その他重症化リスクが高いと医師が認める方 ・医療従事者や高齢者施設の従事者等	従来型ワクチン	原則、オミクロン株 対応ワクチン	原則、オミクロン株 対応ワクチン	オミクロン株 対応ワクチン
12歳～59歳(18～59歳は上記以外)	従来型ワクチン	原則、オミクロン株 対応ワクチン	オミクロン株 対応ワクチン	—
5歳～11歳	ファイザー(小児用) (※4)	ファイザー(小児用) (※4)	—	—

- ※1 3回目接種以降は原則、オミクロン株対応ワクチンとなります(5～11歳を除く。12～17歳はファイザー社製を使用)。やむを得ない場合のみ従来型ワクチンが接種可能ですが、ファイザー社製、モデルナ社製、ノババックス社製となりますが、12～17歳の3回目接種ではモデルナ社製は使用できません。
- ※2 3回目接種を従来型ワクチンで接種された方のみ対象となります。
- ※3 4回目接種を従来型ワクチンで接種された方のみ対象となります。
- ※4 現在、ファイザー社製の小児用ワクチンは、従来型ワクチンのみです。

オミクロン株対応の接種券の発行について

- ・4回目の接種券がお手元にある方は、その接種券をご利用ください。(※2)
- ・従来型ワクチンで4回目接種を終えられた方は、5カ月以上経過後に接種できるよう発行される予定です。(※3)
- ・既に3回目接種を終えられている12歳以上の方は、10月中旬以降接種が可能となるよう、順次発行される予定です。(※2)

オミクロン株対応ワクチンについて

◎ワクチンの効果

国の第36回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会(9月2日開催)において、流行中のオミクロン株に対応した成分と従来株の成分を含み、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果や、短い期間である可能性はあるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待され、また多様な免疫反応は、今後の変異株に対しても有効である可能性が高いとされています。

◎副反応

ファイザー社製、モデルナ社製ともに、従来型のmRNAワクチンとおおむね同様に、接種部位の痛み、腫れ、発赤、全身症状としてのだるさ、頭痛、筋肉痛、関節痛、寒気、発熱などの症状が報告されています。

追加接種(3回目、4回目、5回目)の接種間隔について

ファイザー、モデルナは、前回(2回目、3回目、4回目)の接種から5カ月以上経過している必要があります。ノババックスの3回目接種は、2回目接種から6ヶ月以上経過している必要があります。

詳しくお知りになりたい場合

新型コロナワクチン
についてのQ&A
【厚生労働省ホームページ】
新型コロナワクチンQ&A特設サイト



新型コロナワクチンの
副反応疑い報告について
【厚生労働省ホームページ】



高知県 コロナ ワクチン
検索

子どもに対する新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 子ども
ホームページをご覧ください。お住まいの市町村にご相談ください。



5歳から11歳のお子様の接種について ※9月6日から接種の努力義務が適用されました。

◎ワクチンの効果

新型コロナワクチンを接種することで、新型コロナに感染しても症状が出にくくなります。3回目の追加接種後は、オミクロン株を含む新型コロナウイルスに対する中和抗体価が上昇し、時間経過とともに低下した1、2回目接種による発症予防効果が回復すると報告されています。

◎副反応

5～11歳の子どもに対する3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目接種の後と比べると、おおむね同様の症状が見られ、2回目接種時を上回るリスクは報告されていません。

<接種後7日間に現れた主な副反応(2回目接種後→3回目接種後の発現率)>

疲労(46.6→45.6%)、頭痛(30.1→34.0%)、筋肉痛(12.5→18.3%)、悪寒(10.3→10.5%)、
発熱(8.8→6.7%)、関節痛(5.5→6.7%)

◎お子様のワクチン接種には、保護者の同意と立ち合いが必要です。

感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、保護者の方の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。保護者の方の同意なく接種が行われることはありません

【高知県の相談窓口】 ワクチンを接種した後の副反応に関する相談窓口
〈高知県新型コロナウイルスワクチン専門相談電話〉 **tel.088-823-9889**

〈受付時間〉
9:00～21:00
(土日祝日含む)